

育成を目指す資質・能力

〈本時のねらい〉

〔知識及び技能〕 友人や家族について、イメージマップをもとに即興で伝え合う活動を通して、動詞(give, callなど) + A + Bの文の意味や用法を理解し、それを正確に用いて英文を書くことができるようにする。

ICT活用のポイント

○4技能の向上

リーディング、リスニング（帯活動）、スピーキング（即興で話す）、ライティング（正確に書く）、リフレクション（振り返り）

【つかむ】

「友人や家族について英語で紹介しよう」

【追究する】

- ・友達のよい表現から学ぶ
- ・イメージマップからスピーチの内容を広げる

【まとめる】

- ・自分のスピーチを聞く
- ・ドリル問題に取り組む

事例の概要

○本単元の目標は、エッセイコンテストに応募するために、行ってみたい国について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことである。本事例は本単元の中で友人や家族について即興でスピーチをする活動を行い、行ってみたい国についてのまとまりのある文章を書くための知識及び技能の育成を目指している。

【事例におけるICT活用の場面】

【帯活動として、リーディング、リスニング】

- ① I C T 端末の録音機能を活用し、音声に焦点をあてた活動を行う。
- ② 学習者用デジタル教科書を活用し、文字や符号に焦点をあてた活動を行う。

【スピーキング】

- ① 前時に提出したスピーチから、友達のよい表現を教師が選び I C T 端末で共有する。
- ② イメージマップを元に内容をふくらませ、即興でスピーチし録音する。

【リフレクション】

- ① 自分のスピーチを聞き、前回よりどのようによくなったか客観的に振り返る。
- ② 本時で学習したポイントをICT端末のドリル問題で振り返る。

【外国語・中2・Lesson4 Uluru】②

【事例におけるICT活用の場面】

1、つかむ(帯活動)

①シャドーイング、リスニング



A L Tが録音した教科書本文を聞こえたおりに発音することで、強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴を捉えることができる。

2、つかむ(帯活動)

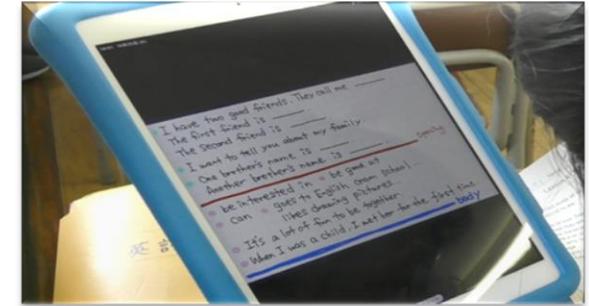
②リーディング、リスニング



学習者用デジタル教科書を活用し、文字や符号を識別し、正しく読むことができる。読みづらい文章をタッチすることで、繰り返し聞いたり読んだりして練習することができる。

3、追究する(スピーキング)

①個人でスピーチ練習



前時に提出されたスピーチから、他の生徒にとって参考となるよい表現を教師が選び、I C T端末で共有する。それらの表現を自分のノートに書き取ったり、発音練習をしたりすることができる。

4、追究する(スピーキング、リスニング)

②ペアでスピーチ練習



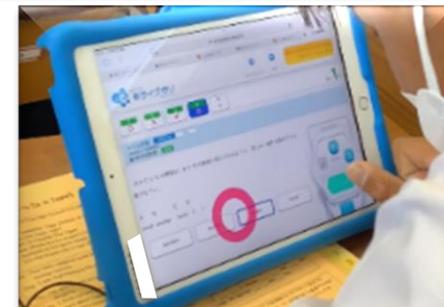
友達のよい表現を取り入れながら、イメージマップを基にスピーチの内容をふくらませる。ペアになり、相手意識を持ちながら即興でスピーチを行い、同時に録音をする。聞き手はスピーチの単語数を数え、リスニング力を鍛える。

5、まとめる(リフレクション)

振り返り



録音した自分のスピーチを聞き、前回よりもよかった点を客観的に振り返り、言えるようになりたい表現を確認する。聞き取った単語数を元にもどの程度多く言えるようになったか数値として確かめる。



学習支援ソフトのドリル問題に取り組み、その日のポイントを振り返る。学習データを積み重ねることで学習の定着度を把握することができる。

【活用したソフトや機能】

- ・I C T端末の録音機能
- ・学習者用デジタル教科書
- ・学習支援ソフト
- ・イヤフォン